



## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 編集会議	ニュース番組作りは、まず「編集会議」から始まります。この会議で、その日にどのようなニュースを伝えるか、どこに取材に行くかなどの計画を話し合って決めます。その後、取材、映像の編集、リハーサルなどを経て放送されます。
問2	答え 2 メディア	メディアとは、情報を受け手であるわたしたちに伝えるための手段や道具のことです。新聞やラジオ、テレビ、インターネットなどもすべてこのメディアに含まれます。
問3	答え 2 デジタル放送	現代のテレビ放送は、デジタル技術を使うことで、より多くの情報を素早く正確に届けられることができるデジタル放送が主流になっています。これによって、きれいな映像や音声を遠くまで送ることが可能になりました。
問4	答え 2 ルールを確認し、自分だけで判断できないときは大人に相談する	インターネット上の音楽や画像には、それを作った人の権利（著作権）がある場合があります。勝手に使うとトラブルになる可能性があるため、まずは正しいルールを確認し、迷ったり判断に困ったりしたときは、必ず周りの大人に相談することが大切です。
問5	答え 3 その情報が正しいかどうか	インターネット上には、間違った情報や、誰かを傷つけるような情報が混ざっていることがあります。情報の信頼性を確認せずに不用意に拡散してしまうと、社会に大きな影響を与えたり、トラブルの原因になったりするため、必ず確かめることが大切です。
問6	答え 3 どのニュースを番組で取り上げるかを話し合う	編集会議は、取材で得た多くの情報の中から、今、視聴者に伝えるべき大切な内容を選ぶために行われます。この会議で決まった内容をもとに、映像の編集が進められます。
問7	答え 2 ラジオ	災害時には、電気や通信が止まってしまうことがあります。そのような状況でも、電池で動くラジオは情報を届けるための非常に重要な手段となります。被災地では、臨時のラジオ局が作られて地域に特化した情報を放送することもあります。
問8	答え 4 自分の書いた内容が誰かに影響を与えるかもしれないと考え、慎重に投稿すること	インターネットは多くの人がつながる場所であり、自分が何気なく投稿した言葉が、誰かを深く傷つけてしまったり、大きな誤解を生んだりすることがあります。小学生であっても、発信した内容に対して「自分の言葉に責任を持つ」という自覚を持つことが、情報社会で生きるために欠かせません。
問9	答え 4 情報の特性や目的に合わせて使い分けるため	メディアにはそれぞれ特徴があります。例えば、速報性を重視するインターネットや、動画と音で詳しく伝えるテレビ、じっくり読める新聞など、届けたい情報の内容や目的に合わせて最適なものを選ぶことが大切です。
問10	答え 3 コマーシャル	コマーシャルは、商品やサービスを多くの人に知ってもらうための宣伝映像のことです。テレビ局はこのコマーシャルを放送することで得られる費用を使って、番組を制作・放送しています。
問11	答え 4 緊急特番	災害などの緊急時には、視聴者にいち早く正確な情報を届けることが最優先されます。そのため、予定していた番組を変更し、緊急特番として情報を伝えます。
問12	答え 3 世界中の人に自分の考えをすぐ伝えることができること	インターネットは、遠くにいる人や世界中の人に対して、自分の考えや意見を瞬時に（すぐに）発信できるという大きな強み（特性）があります。ただし、だれでも発信できるため、インターネット上のすべての情報が正しいとは限らないことや、使うためにはパソコンやスマートフォン、通信の契約などが必要なことにも注意しましょう。
問13	答え 2 番組編成責任者	番組編成責任者は、たくさんの人がテレビを見る時間帯に合わせて、どのような順番で番組を放送するかを決定する大切な役割です。カメラマンは映像を撮る人、記者は情報を集める人、アナウンサーはニュースを伝える人と、それぞれ専門の役割分担があります。
問14	答え 4 地域の細かい情報を集めて伝えるため	遠く離れた東京のテレビ局だけでは、被災地の細かな状況を把握することが難しい場合があります。地域に根ざしたローカル局が連携し、現場の正確な情報を伝えることで、より早く地域の安全を守る情報が届けられます。
問15	答え 1 一度出した情報は消すのがむずかしいこと	一度インターネット上に文章や写真を公開すると、誰かがその情報をコピーしたり保存したりするため、あとから完全に消すことはとても困難です。そのため、情報を発信するときは、誰かを傷つけるような内容ではないか、後で困るようなことはないか、よく考えてから操作することが大切です。
問16	答え 3 双方向	デジタル放送は情報を送るだけでなく、受け取る側からも情報を送り返すことができるため、このような名前で呼ばれています。これにより、視聴者は番組作りに参加できるようになりました。